

2015年5月11日(月曜日)

食品産業新聞

アサヒロジ経営計画説明会

前期単体売上高17%伸長

今期6%増240億円を計画

食品専門物流企業のアサヒロジステイクスは4月21日、都内ホテルで第62期経営計画発表会を開催した。前期(15年3月期)は単体での売上高が前年比17・6%増の227億円と大幅な

増収を達成。グループ連結では売上高230億円となった。横塚元樹社長は「M&A等はやらない方針の進んだが、まだまだ不足感があり、採用と育成が課題だ」とした。



横塚社長

会社設立60周年となった前期は「原点回帰」をスローガンとし、新経営理念の制定、会社設立60周年感謝の会開催等を実施した。新規拠点としては、仙台営業所、川越営業所、ディリースタッフ新潟営業所の3カ所を開設。関東圏外で初めて2カ所の拠点を開設し、「東日本のアサヒ」の目標に向けて足場を固めた。既存拠点においては、大手外食チェーンの新規業務

が順調に増えたことが奏功した。

今期はスローガンとして「ダントツのS&Qを確立しよう!」を掲げ、他社と明らかに違う「ダントツ」のSafety・安全とQuality・品質をさらに高めることを目指すとした。また、中身のある成長を目指すため、新規の得意先獲得でなく、既存の得意先の深耕を主眼とし「既存のお客様の要望は絶対にお断りすることがないよう

人員と対応力をしっかりと確保する」とした。数値目標としては、現時点で決まっている仕事のみで前年比6%増の売上高240億円とし、上振れにも含みを持たせた。

本社を移転
6月22日付で
大宮駅西口へ

また、横塚社長は6月22日付で、本社を現在の埼玉県嵐山町から、さいたま市の大宮駅西口近くに移転することを明らかにした。現在の嵐山町の本社は、関東圏内の拠点から見ても中心ではなく、今後の東北での

事業を考えると、最も機能的で皆が集まりやすい場所、本社勤務となった場合に通いやすい場所を考え、大宮へ移転することを決めた(横塚社長)

なお、今年度の新規拠点の開設では、4月23日に秋田営業所を開設。6月には岩手県に北上営業所を開設する。また、神奈川県内を開設し、神奈川県内の配送網を強化する。